

鹿島臨海鉄道 安全報告書

2008 年度版



1. 利用者はじめ地元の皆さまへ

当社の鉄道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠に有難うございます。当社は、経営計画の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆さまからの声を輸送の安全に役立てたく、是非、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

鹿島臨海鉄道(株) 社長 金田好生

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社は、「安全に関する基本的な方針」を次のように掲げ、社長以下社員全員に周知・徹底しております。

安全の確保は、輸送の生命である。
規程の遵守は、安全の基礎である。
執務の厳正は、安全の要件である。
一致協力して輸送の安全確保に努める。
輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行する。
常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

(2) 安全目標

2008年度安全・安定輸送確保施策は次のとおりです。また2007年度を初年度とする3ヵ年間の中期経営計画を定め、その中において「安全・安定輸送の確保」を主要施策とし、社長をトップに社員一同目標達成に向け推進しています。

安全風土の構築

(ア)人的な要因による重大事故の絶滅

(イ)安全風土の醸成

(ウ)テロ防止対策の推進

安全設備の確保

(ア)バリアフリ - 対策

(イ)通信ケーブル増設

(ウ)安全性緊急評価指摘事項の改修

労働安全衛生

(ア)労働災害を防止するための職場環境の整備

(イ)健康に対する意識の高揚

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 鉄道運転事故

2008年度、列車内の蛍光管が落下しお客さまが怪我(軽傷)するという事故(人身障害)を惹き起してしまいました。全車両緊急点検を実施再発防止に努めました。

(2) 災害(地震や暴風雨、豪雪など)

2008年度は、豪雨による列車の乱れや運休は4回ありました。この間、利用者の皆さまには大変ご迷惑をお掛けしました。

(3) 輸送障害(30分以上の遅延や運休)

2008年度は5件発生しました。原因別内訳は自然災害が4件、設備の故障が1件でした。

(4) インシデント(事故の兆候)

2008年度、国土交通省へのインシデント報告はありませんでした。

(5) 行政指導等

2008年度は、行政指導等はありませんでした。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 2008年度重点安全施策

安全目標を達成するため、当社では安全設備の確保に取り組んでいます。

2008年度の主な整備状況は下記のとおりです。

安全目標項目	重点安全施策の内容	進捗
バリアフリ - 対策	東水戸駅に点字ブロック設置	実施済
通信ケーブル増設	鹿島大野駅～鹿島サッカースタジアム駅間 ケーブル増設	実施済
安全性緊急評価指摘事項の 改修	高架橋の疵補修等の改修	継続中

(2) 人材教育

当社では、輸送や皆さまの安全に役立つよう人材教育を行なっております。毎年度、(社)日本鉄道運転協会等で実施している社外教育等を活用し、教育効果を高めています。

(3) 緊急時対応訓練等

毎年、東日本旅客鉄道(株)水戸支社及び千葉支社との合同訓練会を実施しています。

1年毎に運転事故や災害等を想定し、消防署等のご協力をいただき、異常時総合訓練を実施しています。



(4) アルコ - ル検知器の使用

飲酒運転が問題になっている中、皆さまの信頼に応えるべく、運転士と車掌が乗務を開始する前の点呼時にアルコ - ル検知器を使用して、酒気帯びでないことを確認するなど事故防止を強化しています。

(5) 安全のための投資と支出

安全の維持・向上のため、安全関連設備への投資や施設・車両の修繕費として必要額を支出しています。今年度は、車両の修繕や保安設備の整備を当初計画よりも前倒して実施しました。

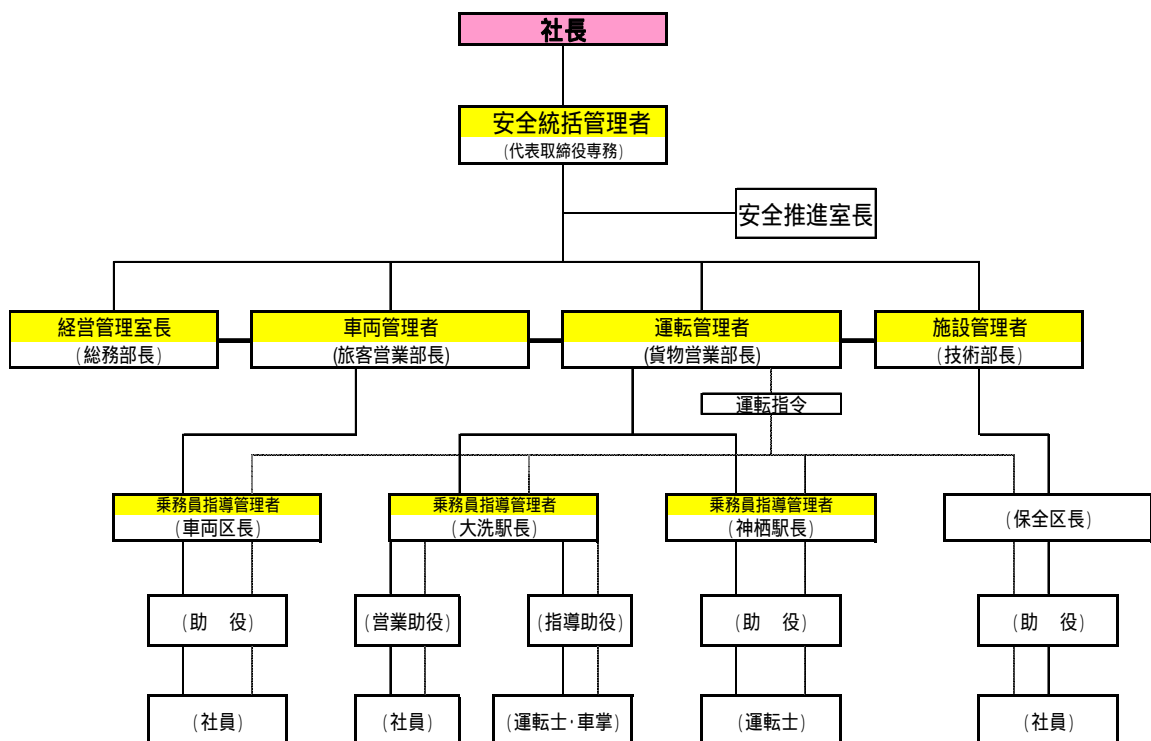
(6) 危険品輸送の安全確保

化成品などの危険品を安全に取り扱うために必要な情報を整備し、危険品輸送の安全確保に努めています。

5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

組織及び安全管理体制図



役 職	役 割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
専務 (安全統括管理者)	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
貨物営業部長 (運転管理者)	安全統括管理者の指揮の下、列車の運行、運転士及び車掌の資質の保持その他運転に関する業務を管理する。
駅・区長 (乗務員指導管理者)	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
技術部長 (施設管理者)	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。

6. 地元の皆さまとの連携

安全で信頼される鉄道をつくるため参考にさせていただきますので、皆様のご意見ご要望をお寄せ下さいますようお願いいたします。

ご連絡先

TEL.029-267-5200 FAX.029-267-7363

E-mail email@rintetsu.co.jp